

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和7年度分）

指定管理者による公共施設の管理運営計画（申請・変更時）		
施設	名 称	栃木市斎場
	所 在 地	栃木市岩舟町三谷1211番地1
	施設内容	火葬場
指定管理者	名 称	栃木新斎場整備運営株式会社
	所 在 地	栃木市河合町5番3号
	主な業務内容	（１）栃木市新斎場整備運営事業に関する次の業務 ①栃木市新斎場の設計・建設及び工事監理に係る業務 ②栃木市新斎場の維持管理に関する業務 ③栃木市新斎場の運営に関する業務 （２）前号に附帯する一切の業務

（１）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値	
	利用者アンケート数			40件/年		88件/年	
	利用者意見反映数			4件		4件	
	利用者満足率（接遇）良い・やや良い			80.0%		88.7%	
	利用者満足率（施設）良い・やや良い			80.0%		88.0%	
	お手紙コーナー利用者数			80葬家/年		125葬家/年	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	I	1.0	25	I	1.0	25
指定管理者コメント	・施設の厳粛性を確保し、安全性、利便性及び快適性を向上させ、利用者の立場に立った良質なサービスの提供に努めました。 ・火葬予約は予約システムを活用し、各種申請書類の確認や予約情報の照会を、効率的かつ迅速に行い、また特定の葬祭業者または個人を優先することなく公平に行いました。 ・霊柩車到着後は会葬者を待たせることなく安全に誘導し、棺運搬車に棺を載せ替える際には丁寧に扱い、利用者が滞留しないよう適切に告別室へ誘導しました。 ・施設や運営に対するアンケートを用紙やWEBで行い、利用者の声を運営に反映できるように努めました。						
施設所管課コメント	・利用者の立場に立った良質なサービスを提供できており、また、利用者が滞留しないよう安全に誘導もできている。 ・本年度からWEBでのアンケート回答も可能とするなど、利用者の利便性を向上するとともに、利用者等の意見を把握し、適切に意見を反映させていることから本評価とした。						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値
	ホームページの「お知らせ」更新回数			3回/年		2回/年
	パンフレット作製			1,000部		なし
	斎場周辺清掃活動			12回/年		12回/年
	斎場周辺清掃活動参加者数			延べ24人		延べ34人
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	・稼働日及び使用時間、火葬件数、使用料金はホームページ及びパンフレット等で施設案内広報業務を行いました。 ・斎場周辺美化を目的に周辺清掃を実施し、敷地周辺の不法投棄の有無などの状況確認を行いました。					
施設所管課コメント	・広報活動については計画値を若干下回るものの適切に実施しており、また、斎場周辺の清掃活動を適切に実施していることから、本評価とした。					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値
	火葬炉灯油使用量			48ℓ／件		43.1ℓ／件
	電気使用量			320,000kwh		292,617kwh
	水道使用量			500m ³		468m ³
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	I	1.0	15	I	1.0
指定管理者コメント	・業務に必要な電気、水道および燃料は、使用エネルギー量を運営職員が記録し、それに基づき統計・分析を行ってエネルギー使用量の縮減を図り、環境に配慮した効率的且つ経済的な運営を行いました。 ・運営職員による省エネ活動の取組みを行い、火葬では無駄の無い効率的な運転を行い燃料使用量の削減を図りました。					
施設所管課コメント	・効率的に火葬炉運転を行ったことで、燃料使用量を削減できたと考えられる。 ・効率的なエネルギー使用により、経費削減していることから本評価とした。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>				
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数（火葬集中時）			8～10人	8～10人	
	研修会開催数			6回	7回	
	研修会参加者数			延べ18人	延べ19人	
	勤務時間数（1人当り）			40時間/週	40時間/週	
	経営収支比率			100%	105.5%	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	・最適な人員配置と業務分担で、安定的に業務を遂行し常に利用者が安心・安全に利用できる運営を行いました。 ・開場日は常にOJT教育訓練を行い、接遇研修、火葬炉保守管理研修などを実施し、職員の業務のレベルアップに努めました。					
施設所管課コメント	・研修会や育成指導等を行い、職員の業務レベル向上に努めていることが伺える。 ・火葬集中時に適切に人員配置を行い、適正な管理運営体制が確保されていることから本評価とした。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値
	事故発生件数			0件		0件
	訓練実施回数			2回		2回
	訓練参加者数			6～8人/回		6～8人/回
	個人情報保護法講習			1回/年		1回/年
	労働安全衛生講習			1回/年		1回/年
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	・稼働を止めることができない施設の特性に鑑み、チェックシートを用いた予防保全を基本とする日常点検を行い、常に安定した運営を提供できるように保守管理を行いました。 ・定期点検は、維持管理企業の技術者が建築物・建築設備定期点検を実施し、法定点検が必要な項目については法令に則り点検を実施しました。 ・コンプライアンス意識をもった運営と「墓埋法」「個人情報保護法」をはじめとした関係諸法令に基づく運営を行いました。					
施設所管課コメント	・日常点検及び定期点検を実施し、安定した運営ができるように保守管理を行っていたことが伺える。 ・緊急時の危機管理に備えた訓練を実施していることや、無事故で操業できていることから本評価とした。					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	25	25	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	16	16	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	20	20	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	20	20	
評価点合計	100	96	96	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

④ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	令和6年3月期	令和7年3月期	令和8年3月期
資産総額	680,776,001	627,606,594	600,345,968
売上高	3,111,729,465	123,272,814	123,272,814
経常利益	22,264,458	6,843,388	6,984,380
当期利益	19,931,058	5,209,588	5,176,880
経常収支比率	100.7%	105.3%	105.5%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。
この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和6年3月31日	令和7年3月期	令和8年3月期
経常費用	3,095,696,577	128,550,561	127,856,550
経常収益	3,118,069,575	135,393,949	134,840,930
経常収支比率	100.7%	105.3%	105.5%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント
・令和3年度から令和5年度9月までは施設整備期間であり、売上が無いため、事業会社の決算は赤字となります。会社は施設引渡し後の令和5年10月31日に金融機関より融資を受け、事業期間を通して返済します。 ・指定管理は施設引渡し後の令和5年10月1日から供用開始となりました。 ・令和6年度から維持管理・運營業務を年間通して実施し、利益等も回復しました。 ・令和7年度も事業計画に基づき、計画と実績を対比し事業の健全性を確保しています。